

このふる里ホーム船木台は、関連施設美里、熊谷市内、船木台といくつもあるホームの1つで、建物は似ているが、内容は少しずつ違いがあるように感じました。

荒川の南、東松山と吉見の間の山を切り開いた開拓地が船木台で住宅地と工場団地で構成されています。

ここは比較的元気な人が多く、入所の人と、通所の人で構成されており(多分)今日は“一緒のお楽しみ会の日”なんだろうなと感じました。何故なら移動途中に頑丈な防火扉があり、区切られているところがありました。

身内が入っている人は御存じだと思いますが、今どきのホームは入所者の棟、デイサービスの棟、別々です。入って見れば同じ、一つの建物。



皆さん時間前なのに集まり、時間より早くに始まりました。(30数名の方々が待っておられました。)

まず、基本、いつもの様に皆さんに元気な手拍子をしていただき感謝です。

次に新しい「ああ人生に涙あり」  
曲は良いのですが、私たちが3番を間違ってしまった。残念です！！！！  
でも歌を知っている人達は歌っていました。  
良かった！！！！



次に「きよしのズンドコ」皆さん知っている曲なので楽しんでいました。

歌っていました、良い顔をしていました。

次に手品、Iさん、Kさんのお得意を披露……  
何故か手品の方が受けているみたいでした。  
分かりやすいのかもね。

次に向こうの希望のふれあいタイム……でも正直  
今迄で一番と言っても良い位の静けさ、  
やはりお世話をする人の好み、立ち位置、積極性  
の現れなのかな？とも感じました。  
出来た人は大喜びでしたが……。



そこで約束の時間があるので、アンコールというこ  
とで、麦畑を踊りました。  
これは皆さんに受けたみたいで、最後のハートは  
皆さん拍手でした。



終わりの挨拶をして、身支度をしている時思いがけ  
ない事がありました、  
私たちのお世話をしてくれた人が「お伝えしま  
すが、今日は良い物を見せて頂きました、ありがとうございます、また来て下さい」と皆さん喜んでおりました。と。  
私にとって意外な嬉しい言葉でした、「良い物を」この一言が「来て良かった、玉すだれをされていてよかった」と  
幸せを感じました。

何かその場所、施設の違い特徴なのか……表現に出す出さない、の事なのか  
私たちにも、皆さんとの距離を近づけ、なごませ、一体感を味わえる様に楽しむことが大事なのだと痛感し反省し  
ました、これができてこそその慰問なのかな…素直に反省をする私です。  
座員同じ反省だと信じています。  
でも、あの「お元気でね」と言った時「また来てね」と言った返事と顔は忘れられません。

(記 難波道子)